

# 飛驒市景気動向調査結果

平成28年度下半期

(平成28年10月～平成29年3月期分)

平成29年9月

飛驒市役所商工観光部商工課

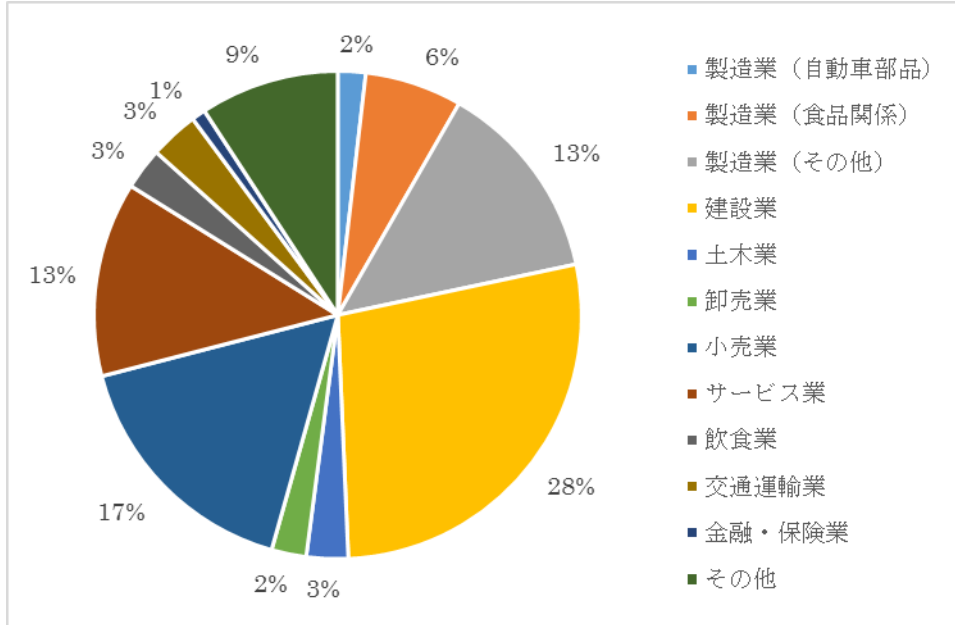
# 調査概要

1. 調査目的 飛騨市内の各企業等を対象とした景気動向
2. 調査方法 調査対象を事業所統計調査のデータから無作為抽出し、郵送及びFAX利用によって行うアンケート調査
3. 調査対象 市内企業 323社
4. 調査時期 平成29年6月19日～平成29年7月18日
5. 調査対象期間 平成28年10月～平成29年 3月期実績 (今期)  
平成29年 4月～平成29年 9月期見通し (来期)
6. 回収状況 依頼数 323社  
有効回収数 218社 (有効回収率 67.5%)  
業種別内訳

製造業 (自動車部品)	4社	(100.0%)
製造業 (食品関係)	14社	(73.7%)
製造業 (その他)	28社	(82.4%)
建設業	59社	(80.8%)
土木業	6社	(42.9%)
卸売業	5社	(83.3%)
小売業	36社	(60.0%)
サービス業	27社	(55.1%)
飲食業	5社	(62.5%)
交通運輸業	7社	(58.3%)
金融・保険業	2社	(100.0%)
その他	20社	(50.0%)

－ 業 種 別 内 訳 －

製造業（自動車部品）（2%） 製造業（食品関係）（6%） 製造業（その他）（13%）  
 建設業（28%） 土木業（3%） 卸売業（2%）  
 小売業（17%） サービス業（13%） 飲食業（3%）  
 交通運輸業（3%） 金融・保険業（1%） その他（9%）



7. 調査項目

定例項目

- ①売上（加工）額 ②採算（経常利益） ③従業員数  
 ④資金繰り ⑤製品・商品在庫 ⑥仕入単価  
 ⑦設備投資 ⑧設備投資した内容 ⑨総合景況感

8. D I 値

D I（デフュージョンインデックス）は景気動向指数と呼ばれ、売上や採算などといった各項目について総合的に見た景況・不況の判断を示すもの。ゼロを基準とし、プラスの値となれば景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、逆にマイナスの値となれば景気の下向きを表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気といった景気感の相対的な広がりの意味する。

売上高D I = （増加割合）－（減少割合）

採算D I = （好転割合）－（悪化割合）

# 調査結果概況

## 1. 項目別DI

項目	実績DI H28下期 (H28上期との比較)	見通しDI H29上期 (H28下期との比較)
①売上(加工)額	△16.4	△4.9
②採算(経常利益)	△13.6	△15.7
③従業員数	△40.2	△44.7
④資金繰り	△12.8	△9.8
⑤製品・商品在庫	△8.8	△6.3
⑥仕入単価	33.8	28.1
⑨総合景況感	△25.6	△22.9

## 2. 業種毎の項目別DI

### 1) 製造業(自動車部品)

項目	実績DI(H28 下半期)	見通しDI(H29 上期)
①売上(加工)額	△25.0	66.6
②採算(経常利益)	△25.0	△50.0
③従業員数	△25.0	△33.4
④資金繰り	△50.0	△25.0
⑤製品・商品在庫	△25.0	△25.0
⑥仕入単価	50.0	75.0
⑨総合景況感	△25.0	33.4

### 2) 製造業(食品関係)

項目	実績DI(H28 下半期)	見通しDI(H29 上期)
①売上(加工)額	△14.3	14.2
②採算(経常利益)	△21.3	15.4
③従業員数	△57.1	△64.3
④資金繰り	△35.8	0.1
⑤製品・商品在庫	△7.1	14.2
⑥仕入単価	46.2	46.2
⑨総合景況感	△23.2	7.8

3) 製造業 (その他)

項 目	実績DI(H28 下半期)	見通しDI(H29 上期)
①売上(加工)額	17.9	11.1
②採算(経常利益)	21.4	△7.4
③従業員数	△57.1	△57.8
④資金繰り	△14.3	7.4
⑤製品・商品在庫	7.4	△3.6
⑥仕入単価	17.8	7.4
⑨総合景況感	△7.4	△11.1

4) 建設業

項 目	実績DI(H28 下半期)	見通しDI(H29 上期)
①売上(加工)額	△20.2	△8.6
②採算(経常利益)	△11.9	△16.0
③従業員数	△44.0	△48.3
④資金繰り	△3.3	△12.4
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価	39.3	38.3
⑨総合景況感	△14.9	△22.1

5) 土木業

項 目	実績DI(H28 下半期)	見通しDI(H29 上期)
①売上(加工)額	△33.4	△33.4
②採算(経常利益)	0	△50.0
③従業員数	△16.7	△16.7
④資金繰り	0	△33.3
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価	40	40
⑨総合景況感	△33.4	△50.0

## 6) 卸売業

項 目	実績DI(H28 下半期)	見通しDI(H29 上期)
①売上(加工)額	△20.0	△20.0
②採算(経常利益)	20	0
③従業員数	0	0
④資金繰り	20	20
⑤製品・商品在庫	△40.0	△20.0
⑥仕入単価	40	60
⑨総合景況感	△40.0	△40.0

## 7) 小売業

項 目	実績DI(H28 下半期)	見通しDI(H29 上期)
①売上(加工)額	△22.2	△19.5
②採算(経常利益)	△22.1	△24.9
③従業員数	△30.5	△30.5
④資金繰り	△22.2	△8.4
⑤製品・商品在庫	△17.1	△11.5
⑥仕入単価	27.8	24.9
⑨総合景況感	△33.3	△19.4

## 8) サービス業

項 目	実績DI(H28 下半期)	見通しDI(H29 上期)
①売上(加工)額	△22.1	△11.6
②採算(経常利益)	△18.4	△15.4
③従業員数	△49.9	△59.3
④資金繰り	△3.8	△16.0
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価	39.1	22.7
⑨総合景況感	△29.6	△44.0

9) 飲食業

項 目	実績DI(H28 下半期)	見通しDI(H29 上期)
①売上(加工)額	△40.0	△20.0
②採算(経常利益)	△60.0	△40.0
③従業員数	0	△60.0
④資金繰り	△60.0	△80.0
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価	60	△20.0
⑨総合景況感	△60.0	△40.0

10) 交通運輸業

項 目	実績DI(H28 下半期)	見通しDI(H29 上期)
①売上(加工)額	△28.6	△14.2
②採算(経常利益)	△42.8	△43.0
③従業員数	△57.1	△57.2
④資金繰り	△33.4	△14.3
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価	20	0
⑨総合景況感	△57.1	△42.9

11) 金融・保険業

項 目	実績DI(H28 下半期)	見通しDI(H29 上期)
①売上(加工)額	△50.0	50
②採算(経常利益)	△50.0	50
③従業員数	0	0
④資金繰り	0	0
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価		
⑨総合景況感	△100.0	△50.0

景気動向調査結果業種別集計表

平成28年10月～平成29年3月期  
(%)

項目	比較区分	状況	産業全体	製造業	製造業	製造業	建設業	土木業	卸売業	小売業	サービス業	飲食業	交通運輸業	金融・保険業
				(自動車部品)	(食品関係)	(その他)								
(加工)売上額	(今期)前期と比べて	増加	8.9	25.0	21.4	14.3	5.2	0.0	0.0	11.1	7.4	0.0	0.0	0.0
		やや増加	17.0	0.0	14.3	28.6	18.6	0.0	20.0	13.9	14.9	20.0	28.6	0.0
		横ばい	31.9	25.0	14.3	32.1	32.2	66.6	40.0	27.8	33.3	20.0	14.2	50.0
		やや減少	26.8	50.0	35.7	21.4	22.0	16.7	40.0	27.8	33.3	20.0	28.6	50.0
		減少	15.4	0.0	14.3	3.6	22.0	16.7	0.0	19.4	11.1	40.0	28.6	0.0
(経常利益)	(今期)前期と比べて	好転	6.0	0.0	7.1	10.7	5.1	0.0	0.0	5.6	7.4	0.0	0.0	0.0
		やや好転	17.0	0.0	14.4	25.0	20.3	0.0	40.0	13.9	14.9	0.0	14.3	0.0
		横ばい	40.4	25.0	35.7	50.0	37.3	100.0	40.0	38.9	37.0	40.0	28.6	50.0
		やや悪化	24.9	25.0	35.7	10.7	22.1	0.0	20.0	25.0	33.3	20.0	42.8	50.0
		悪化	11.7	50.0	7.1	3.6	15.2	0.0	0.0	16.6	7.4	40.0	14.3	0.0
(臨時・パート含む)従業員数	(今期)前期水準	過剰	0.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		やや過剰	4.7	0.0	0.0	3.6	3.4	33.3	0.0	2.8	3.6	20.0	0.0	0.0
		適正	49.5	25.0	42.9	35.7	49.2	16.7	100.0	63.9	42.9	60.0	42.9	100.0
		やや不足	33.2	50.0	35.7	32.1	32.2	50.0	0.0	30.5	46.4	0.0	42.9	0.0
		不足	12.1	0.0	21.4	28.6	15.2	0.0	0.0	2.8	7.1	20.0	14.2	0.0
資金繰り	(今期)前期と比べて	好転	4.3	0.0	7.1	0.0	8.5	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
		やや好転	9.5	0.0	0.0	10.7	11.9	0.0	20.0	8.3	15.4	0.0	0.0	0.0
		横ばい	59.7	50.0	50.0	64.3	55.9	100.0	80.0	50.0	65.4	40.0	66.6	100.0
		やや悪化	17.5	0.0	35.8	21.4	15.2	0.0	0.0	19.4	15.4	20.0	16.7	0.0
		悪化	9.0	50.0	7.1	3.6	8.5	0.0	0.0	16.7	3.8	40.0	16.7	0.0
商品在庫・製品	(今期)前期と比べて	増加	3.4	0.0	0.0	3.7			0.0	5.7				
		やや増加	6.8	0.0	14.3	11.1			0.0	8.6				
		横ばい	70.9	75.0	64.3	77.8			60.0	54.3				
		やや減少	14.2	25.0	14.3	3.7			40.0	22.8				
		減少	4.7	0.0	7.1	3.7			0.0	8.6				
仕入単価	(今期)前期と比べて	上昇	4.6	0.0	7.7	3.6	1.8	0.0	0.0	2.8	8.7	40.0	0.0	
		やや上昇	34.3	50.0	38.5	17.8	39.3	40.0	40.0	36.1	30.4	40.0	40.0	
		横ばい	56.1	50.0	53.8	75.0	57.1	60.0	60.0	50.0	60.9	0.0	40.0	
		やや減少	3.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	
		減少	2.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	2.8	0.0	20.0	20.0	
投設備	(今期)今期実績	実施した	36.8	75.0	28.6	60.7	36.7	50.0	0.0	22.9	38.5	80.0	42.9	0.0
		実施しなかった	63.2	25.0	71.4	39.3	63.3	50.0	100.0	77.1	61.5	20.0	57.1	100.0
総合景況感	(今期)前期と比べて	好転	2.8	0.0	15.4	3.7	1.7	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0
		やや好転	14.2	25.0	7.6	14.8	21.7	0.0	20.0	13.9	7.4	0.0	14.3	0.0
		横ばい	40.3	25.0	30.8	55.6	38.3	66.6	20.0	38.9	48.2	40.0	14.3	0.0
		やや悪化	29.4	25.0	30.8	22.2	23.3	16.7	40.0	30.5	29.6	40.0	71.4	100.0
		悪化	13.3	25.0	15.4	3.7	15.0	16.7	20.0	16.7	11.1	20.0	0.0	0.0



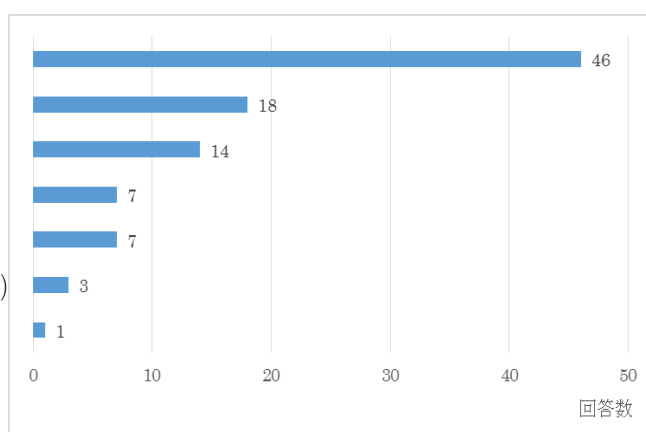
### 3. 設備投資実施状況

業種別	平成28年度下半期実績			平成29年度上半期見通し		
	行った	行わなかった	行った割合	行う	行わない	行う割合
全体	78	134	36.8%	61	146	29.5%
製造業(自動車部品)	3	1	75.0%	3	1	75.0%
製造業(食品関係)	4	10	28.6%	4	10	28.6%
製造業(その他)	17	11	60.7%	16	11	59.3%
建設業	22	38	36.7%	15	44	25.4%
土木業	3	3	50.0%	3	3	50.0%
卸売業	0	5	0.0%	0	5	0.0%
小売業	8	27	22.9%	11	25	30.6%
サービス業	10	16	38.5%	4	21	16.7%
飲食業	4	1	80.0%	1	4	20.0%
交通運輸業	3	4	42.9%	0	7	0.0%
金融・保険業	0	2	0.0%	0	2	0.0%

内訳

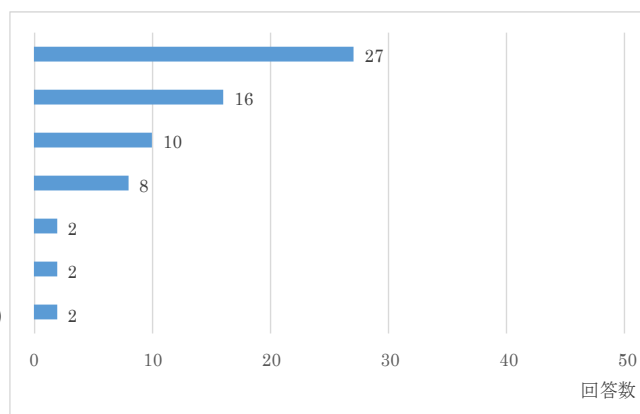
<平成28年下半期実績>

- 1位 補修・更新
- 2位 生産能力拡大
- 3位 合理化・省力化
- 4位 経営多角化
- 5位 省エネ
- 6位 その他(イベント、技術革新、品質向上)
- 7位 事業転換



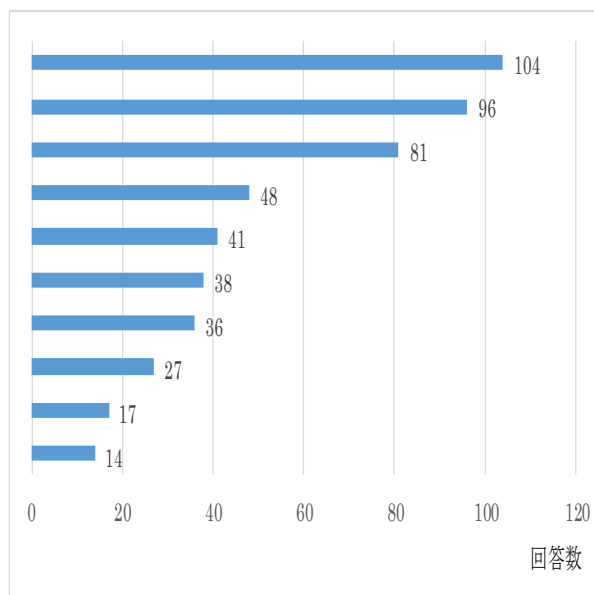
<平成29年上半期見通し>

- 1位 補修・更新
- 2位 生産能力拡大
- 3位 合理化・省力化
- 4位 経営多角化
- 5位 事業転換
- 6位 省エネ
- 7位 その他(技術革新、品質向上)



#### 4. 経営上の問題点

- 1位 需要の停滞・減少
- 2位 従業員の確保難
- 3位 設備の老朽化
- 4位 商品・原材料の仕入単価の上昇・調達難
- 5位 販売価格（受注価格）の低下
- 6位 後継者問題
- 7位 人件費の上昇
- 8位 大企業（大型店）の進出による競争激化
- 9位 新規参入業者の増加
- 10位 資金の借入難



#### 5. 総評

市では今年度より初めて景気動向調査を実施したことから、DI値での比較はできませんが、仕入れ単価を除き、全ての項目について悪化した、もしくは減少したと感じる事業者が多くありました。売上額や採算、資金繰り等が減少したと回答している事業者が多い一方で、仕入れ単価が上昇傾向にあると回答した事業者が多いことから、利幅の減少や経営状況の悪化を招き、前記のような総合景況感のDI値となったものと思われます。

また、回答がありました事業者のうち、平成28年度下期の実績と平成29年度上期の見通しを比較したところ、DI値は双方とも大きなマイナスの値を示しており、総合景況感の悪化が読み取れます。平成29年度上期の見通しでは総合景況感が横ばいと答えた事業者が増えましたが、好転、悪化ともに減少しており依然景況感の好転は感じられにくいものと思われます。

事業別に見ると、自動車関連・食品関連の製造業及び金融・保険業については見通しDIにおいて全体的に回復傾向にあり景況感の上昇傾向にありますが、その他の業種においては現状維持、もしくは悪化傾向にあることから、事業別においても明確に景況感に差があることが読み取れます。

直面している経営上の問題点については、上記項目を複数選択可能により回答していただく形で調査を実施しました。その結果、1位「需要の停滞・減少」、2位「従業員の確保難」、3位「設備の老朽化」という結果となりました。先の項目別DIでもこの順位結果で上位を占めた項目に関する数値は高い値を示しており、この問題が各事業者への業況に直結し、ひいては総合景況感に影響を及ぼしていることが読み取れます。